

## 平成23年度第1回鎌倉食育推進会議 会議録

日 時：平成23年7月5日（火）18時30分～20時00分

会 場：鎌倉市第3分庁舎 講堂

出席者：＜委 員＞中村委員、中谷委員、安齊委員、落合委員、高木委員、高橋委員  
富田委員、中澤委員、牧田委員

＜職員等＞食育連絡協議会（庁内）

市民活動課長、産業振興課長、保育課長、福祉政策課長、  
資源循環課長（代理）、学務課長、教育指導課長、  
教育センター長、生涯学習課長、西鎌倉小学校長、  
岩瀬中学校教頭

事務局（部長及び市民健康課）

相川健康福祉部長、大澤市民健康課長、

持田課長補佐兼健康づくり担当係長、大隅、深谷管理栄養士

### 事務局（大澤次長）

皆さまこんばんは。

本日はお忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。

私は、4月1日付けの異動で、本推進会議の事務局、市民健康課の課長となりました大澤でございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

本日は、柿澤委員・大場委員につきましては欠席というご連絡を頂いております。また、牧田委員につきましては遅れているようでございますが先に進めさせていただきたいと思ひます。

現在の出席者は8人ということで、委員の過半数が出席されておりますので、この会は成立しております。また、本日の、傍聴希望者はございませんので、その旨をご報告させていただきます。では、中村会長、よろしくお願ひいたします。

### 中村会長

こんばんは。本日はお忙しい中、お暑い中集まっていたいただきましてありがとうございます。

先日、国の方で今後食育をどうするかという議論がありました。第1次の期間が終了し、政権が変わりいろいろな議論があったようです。しかし食育を進める過程で、生活習慣病の増加にセーブがかからないので、やはりまだ食事に問題があるということで、今後も引き続き食育を続けていくことになりました。したがって政策としては第2次の食育の段階に入っていくこととなります。

先日、私どもの大学で「日本食育学会」をやりまして、新しい知事さんもいらっしやいまして、盛り上がった学会になりました。小泉元総理大臣も来ていただきま

して、マスコミの取材もずいぶん来ていて、そんなに関心があるのかと思っていましたが、翌日の新聞にでかでかとしたのですが、食育のことはあまりふれていませんで、小泉純一郎元総理が何を言ったかということがとり上げられていました。

元総理は食育基本法を作ったときの総理大臣だったのでお願いしました。

この食育学会に二人の専門家を呼んでおりました。一人は産婦人科の先生ですが、胎児の栄養の状態はその子どもの一生を決めるぐらいのものであるので食育は胎児から始めなければならないと話されていました。もう一人は精神科のドクターで、うつ病の発症が食事に関係しているということが少しずつ明らかになってきたという、その辺の進行状況を発表されました。

現時点では、和食とかお魚が脳や神経の発達に関与していて、うつ病の予防になっているんじゃないかと話されていました。食育の問題は益々重要なのではないかと考えています。しばらく休んでおりましたが、鎌倉食育推進会議を活発に進めていかれることを望んでおります。よろしく申し上げます。

それでは、審議に入ります前に、事務局から新委員等のご紹介をお願いしたいと思います。

#### **事務局（大澤次長）**

新年度に関しまして、この会議の委員さん、また事務局の職員に異動がございますので、ここで紹介させていただきます。

まず、委員の変更につきましては、2名の方が新しく委員になっていただきました。お一人目は6月1日付けで、神奈川県鎌倉保健福祉事務所に異動がございまして、新たに中澤よう子様に委員をお願いすることになりました。中澤様よろしくお願いいたします。

#### **中澤委員**

中澤でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

#### **事務局（大澤次長）**

ありがとうございました。また、かまくら食育クラブ代表といたしまして、高橋尚子様にご参加いただきましたのでよろしくお願いいたします。

#### **高橋委員**

今年の4月から食育クラブの代表になりました高橋尚子と申します。よろしくお願いいたします。

#### **事務局（大澤次長）**

ありがとうございます。本来ならば、お2人の委嘱状については、お一人ずつお渡しすべきですが、机上にお配りさせていただいております。ご了承いただきたい

と思います。

なお、お二人の任期につきましても、他の委員さんと同様に、平成 24 年 10 月 27 日までとなります。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

続きまして、事務局の方の変更について報告させていただきます。

まず、従来健康福祉部長でありました石井が退職をいたしまして、この 7 月 1 日付けをもちまして、私の前任であった健康福祉部次長で、市民健康課長でありました相川が、健康福祉部長となりましたので、ご紹介をさせていただきたいと思います。

- ・相川でございます。今、紹介いただきましたとおり、市民健康課長を兼ねてこの会議方の事務局をお願いしておりまして、引き続きですね同じセクションに携わることになりましたので、今後ともよろしくお願いをいたします。

この中、事務局の職員のほうも異動がございましたので、ご紹介をさせていただきます。

- ・市民健康課の持田課長補佐でございます。
- ・同じく 市民健康課の担当になります大隅でございます。
- ・同じく 管理栄養士の深谷は、引き続き担当を務めさせていただきます。

事務局の異動につきましては以上でございます。後ろに着席しておりますのは、市の関係各課の課長及び小中学校長で組織しております、鎌倉市食育連絡協議会の委員でございます。

個々の紹介は省かせていただきます。お手元に「食育連絡協議会名簿」がございますので、のち程ご覧いただけたらと思います。

以上でございます。

## 中村会長

ありがとうございます。

新委員の中澤さん、ご挨拶をいただけますでしょうか。

## 中澤委員

6 月 1 日付けで小田原福祉事務所から来ました中澤ともうします。よろしくお願いいたします。もともと地元住民でして、富田先生にはうちの娘が大変お世話になりました。一番長く在園して一番時間も長かったということで、最後表彰状まで頂きました。そんな娘も中学生になりました。またこんな御縁でご一緒させていただいて、当時から食育がとても盛んな保育園だったなと思いで深い思いがあります。

今回の震災のこととかで私達もいろいろと関係することももちろんですが、いろんな健康のことで福祉事務所も落ち着かない状態ですけれども、食も大切なことで

すのでこの会議に参加させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

### 中村会長

ありがとうございました。

次に新委員の高橋さん、ご挨拶をいただけますでしょうか。

### 高橋委員

かまくら食育クラブの立ち上げから関わっていて、昔からの流れを知っているということで、この度代表になりました。

私自身、自営で豆腐屋をやっています、そんなところから子ども達に豆腐作りを大豆からというか日本食の基本のところからいろんなかかわりをもったり、仕事ではそんなことをしています。また、今小学生、保育園、一番下が3ヶ月の3人の子育てをしながら、いろんな活動をさせてもらっています。食に関しては先ほど先生がおっしゃったみたいに、本当に胎児の頃からということで、お腹にいる子どもに対してお母さんがどのような食事をするかが大事だなと思いながら妊娠生活をし、出産をしたのですが、そういったことをまわりの市民のも皆さんにお伝えできるような人になっていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

### 中村会長

これからよろしくお願いいたします。

では、会議次第に従い、議題1 「鎌倉食育推進計画」に移らせていただきます。事務局から説明をお願いします。

### 事務局（持田補佐）

それでは、議題1 「鎌倉食育推進計画」について、説明をさせていただきます。

今回、2名の委員さんが変更になっておりますので、簡単に鎌倉市の食育推進計画について、推進計画の概要、推進体制等について、説明させていただきます。

資料1の「鎌倉食育推進計画 市の取り組み」をご覧ください。鎌倉市の食育推進計画は、基本理念である「食をとおして豊かな環境、健やかな心身を地域で育むまちづくり」、めざす姿として「自分の食を、責任をもって選ぶことができる」「食をとおして人とつながることができる」「豊かな環境づくりに参加できる」の3つのコンセプトをもって、「食をとおした健康づくり」「食をとおした人づくり」「食の“わ”でつなぐ地域づくり」「食からはじめる環境づくり」そして、これらを繋ぐ「食でつなぐネットワークづくり」を5本の柱として取り組んでいます。

資料2の「鎌倉食育推進計画 行動計画」をご覧ください。

5本の取り組みの柱には、それぞれの行動目標、指標を設定し、できる限り目標値を設定して取り組んでいるところでございます。

また、推進体制としては、資料3の「H23年度食育推進体制」のとおり、中村

会長をはじめ、本日お集まりいただいている皆様に委員をお願いしている「食育推進会議」で、計画全体の総括、進行管理などを行ってもらっておりまして、行政としての「鎌倉市」には、本日オブザーバーとして参加しております市役所の課長によります「食育連絡協議会」と、その下部組織であります「食育連絡協議会検討会」を組織し、市民、事業者などとの連携のもと、計画を推進しているところでございます。

それぞれの会議の役割等は資料3の下のところにあるとおりですので、説明は省略させていただきます。

## 中村会長

ありがとうございます。

ここまでのところで、ご質問はありますか。

## 中村会長

大丈夫ですか。では、引き続き、本日の議題(2)の「鎌倉食育推進計画の平成22年度まとめについて」に入ります。

## 事務局(持田補佐)

それでは、資料2をご用意ください。

資料2は、食育推進計画の全体の行動目標に合わせて設定した行政の7つの行動目標に対し、関連課がそれぞれに具体的な行動目標を設定し、それに対して前年度の実績を踏まえて本年度の課題を掲げ、どのように取り組み、またそれを踏まえて来年度の課題と取り組み予定を記載しているものです。

それでは、主な事業をご紹介します。

取り組みの柱Ⅰ「食をとおした健康づくり」では、行動目標を「生活リズムをととのえる」とし、保育の場や教育の場での生活リズムの確立、あるいは地域食育事業・健康づくり事業を実施する中で、骨密度や体組成測定等とあわせて25ヶ所、延べ1,027人に実施・啓発するとともに、今年度は特に1日の野菜の摂取量を増やすことに重点をおいて実施し、今年度も、若い世代を中心に拡大を目指したいと考えております。

6ページ後の、取り組みの柱Ⅱ「食をとおした人づくり」及びⅢ「食の“わ”でつなぐ地域づくり」の中で、行動目標の「鎌倉の食を大切にする」では、「秋の収穫まつりの実施」がありますが、今年度新たな取り組みとして鎌倉女子大学の学生も参加頂き、この収穫まつりでJAさがみと鎌倉女子大学とで連携したことが縁となり、JAさがみから県の農政局に紹介され、JAさがみ、鎌倉女子大学及び県と連携のわが広がったと伺っております。

次に、岩瀬保育園で毎年秋に開催される「食育フェスタ」では、平成22年度はこちらの委員でもありますJAさがみと岩瀬保育園の連携により、地域の方に地場産の野菜販売が行われたと伺っております。

次に、資料の最終ページになりますが、取り組みの柱5「食でつなぐネットワークづくり」の中で、行動目標である「地域の“わ”をつなぎ、地域の“わ”を広げる」では「食育交流会の実施」がありますが、平成23年3月に富岡商会、山崎製パン、鎌倉女子大学、JAさがみ、岩瀬保育園及び鎌倉市内の飲食店の協力で、未就学児と保護者を対象にした食育事業を実施することができました。

内容は、お配りした食育通信2011夏号の4面に記載してございます。

続きまして、平成23年度の課題と取り組み予定について、主なものについて説明します。

取り組みの柱Ⅱ「食をとおした人づくり」及びⅢ「食の“わ”でつなぐ地域づくり」の中で、食育・農業体験研修会の実施がありますが、平成22年度は「楽しく学ぶ食育の授業実践」と「農作物の収穫体験と学校園での栽培」について実施され、平成23年度は、「鎌倉の漁業体験研修会」「エコクッキング研修会」の実施が予定されています。

取り組みの柱Ⅴ「食でつなぐネットワークづくり」の中で、食育クラブ員の養成、スキルアップ講座の実施等がありますが、平成23年度は、クラブ員だけでなく一般の方も参加できる公開講座や交流の場の拡大を目指していく予定です。

ご紹介しなかった事業を合わせ、関連各課が平成23年度の課題と取り組み予定欄に記載した内容を、現在実施しております。

また、行政の食育についての行動計画は、ホームページに掲載し、市民の皆様に周知しているところです。

以上で説明を終わります。

## 中村会長

ありがとうございます。

ここまでのところで、ご質問はありますか。

## 中村会長

夜9時までに寝る子の割合が低いですね。目標の80%とは乖離しているようですが。

## 事務局（持田補佐）

A3の資料5の中の一番左に「食をとおした健康づくり」というのがございます。その中に指標としまして「幼児期：夜9時までに布団に入るこどもの割合」がございまして、その右側に計画策定時の数値としまして年長男児の率が42.7%、年長女児の率が37.4%で、これが今回のアンケート調査をしまして平成23年度時点では、年長男児が49.0%、年長女児が50.0%と若干数字の方が上がってきているような状況になっています。

## 富田委員

保育園自体が夜7時、8時とかやっている状況で、保護者の方のお迎えが7時、8時となっているので、9時に布団に入るのは難しいことかと思えます。これはずいぶん高い数字が出ているなと私は感じました。

## 中村会長

目標値の80%は、到底できそうもないような・・・。  
ご意見ありませんか。

## 中谷委員

思春期から高齢期の朝食を毎日摂取する者の割合の中で、20歳代が計画策定時より数値が下がっているようです。目標値が80%ということなので具体的な対策は打ち出されているかもしれないのですが、周知できるようなものを出さないと難しいかなという気がします。

## 中村会長

計画策定時の20歳代は52.3%で、23年度は41.1%。落ちているんですね。落ちている数値はこれだけですか。

## 事務局（大澤次長）

この資料5に出てくる数値は、計画策定時平成20年3月にこの鎌倉市の食育推進計画を作りまして、当時の資料で大体「平成17年度の国民調査」ですとか「かまくらっ子」ですとかそういった資料を基にした数値を使っています。平成23年度の数値は「食と健康に関するアンケート調査の結果」ということでの対比をさせていただいています。また、目標値は国の食育推進基本計画の目標値をあげさせていただいてまして、確かに今、委員さんからのご指摘の通りですね、全体的に見ましてもここの20代の数値は低い状況にございます。鎌倉市としましても市民健康課の方で成人健診とかですね、そういった健康教室等を行いながら啓発には努めているところですが、今後、食育推進計画が20年度から24年度までの計画になっておりまして、そろそろ見直しの時期にかかってまいります。そうした中で、こう

いった低い数値のところをどうしていくかということも、今後皆様のご意見を頂きながら考えていきたいと思っているところでございます。

### 中村会長

朝食の欠食は、なかなか改善されないですね。

### 中谷委員

うちの学生も入っているかもしれないですね。20歳代ということで・・・。

### 中村会長

ご意見ございませんか。

では、先ほど、収穫まつりでJAさがみと鎌倉女子大学とで連携したことが縁となり、JAさがみから県の農政局に紹介され、JAさがみ、鎌倉女子大学及び県と連携のわが広がった、とのことでした。

このことについて中谷委員、安齋委員、何かコメントをいただけますか。

### 中谷委員

収穫まつりを開催しました時に、学生がペープサートという幼児向けの紙人形を使った劇を行いまして、かなりお子さん達がいらして、1回の公演予定だったのですが2回に増やしました。一般の方向けにクイズラリーと申しまして、それぞれの農家さんなどのテントのところにも旬の野菜やクイズを掲示しましてそのクイズを一周していただくとスタンプを集めるようにしまして、参加賞として小冊子なのですがお配りして行いました。後、エコクッキングなどの取り組みもやらせていただきまして、非常に学生自身も学内のゼミ活動では得られないような様々な地域の方たちとのふれあいでモチベーションも上がったと聞きました。

3月にまた同じような機会を持つことができまして、そちらの方で食育交流会あり、クイズラリーはなくてエコクッキングとペープサートをやらせていただきました。それが御縁で、今年度JAさがみさんの事業に参加させていただいて、地場野菜の摂取の啓発をはかろうなどというかたちで今計画を練っております。

### 中村会長

安齋委員は、いかがですか。

### 安齋委員

昨年の収穫まつりの方は、私も他の担当でしたので、野菜の即売の担当ではなかったのですが、鎌倉女子大さんが来ているとはお聞きしていたのですが、どういうことをやっているのか見られなかったのが残念で

した。今年度のことは、鎌倉女子大さんと実行委員会の中で詰めていくのではないかと思います。

### **中村会長**

鎌倉女子大の学生さんは、農業をされるのですか。

### **中谷委員**

子供向けの偏食をなくすような人形劇とクイズをしています。また食の体験等をやらせていただいています。

### **中村会長**

収穫まつりとは、どんなことをしているのでしょうか。

### **安齋委員**

ここ何年か大船中学校をお借りしまして、前日に農産物の品評会の審査会を体育館で行い、翌日に朝から体育館前の広場で野菜の即売会、西鎌倉の餅つき歌の保存会の餅つき、農協婦人部さんのバザー、漁組さんによる海産物の即売会等や農家さんが何軒か連なって野菜や花の即売会を行っていて、その中に今回鎌倉女子大さんが入っていただきましたが、こんな形で30年以上続けています。

### **高橋委員**

昨年、食育クラブでも収穫まつりに参加させていただいて、女子大さんが参加してくださることで、目的の野菜を買うだけでなく、子ども達がラリーをまわって楽しんで参加していました。今までと違う楽しみがあって、買い物だけでなく、小さい子どもは歌を覚えて帰り、家でも野菜の話しをしていました。

### **中村会長**

ありがとうございました。

では、次に、議題の(3)食と健康に関するアンケート調査の結果について、事務局、説明をお願いします。

### **事務局（持田補佐）**

平成20年3月に策定した「鎌倉食育推進計画」は5ヵ年計画で、最終年度が平成24年度となっています。

鎌倉市の食育がどのように推進されたのか、どのような変化が起きているのかを踏まえ、今後の市の食育を進める上でも推進計画を改定する必要があると考えます。

現在の推進計画は、特にアンケート調査は行っておらず、教育委員会が実施している「かまくらっ子の意識と実態調査研究」や市民健康課が実施した「市民の健康

づくりに関する意識調査」などの既存の調査データを活用し策定したものです。

今回、この推進計画を改定するにあたり、基礎となったデータの内容を含めながら、新たに必要な項目を加えアンケート調査を実施しました。

調査の概要は、アンケート調査報告書の2ページ、3ページをご覧ください。

対象者は鎌倉市全域で3,000人。往復郵送での調査で、保育園・幼稚園年長児の保護者、小学校3年生、小学校6年生、中学校2・3年生、20歳～70歳代の5つのカテゴリで実施しました。

アンケート用紙は、保育園・幼稚園年長児の保護者用、小学校3年生・6年生、中学校2・3年生用、20歳～70歳代用の3つのパターンで設問数は食育部分、健康づくり部分を合わせて約60問、食に関する活動等をしている団体向けグループインタビューは11の質問で調査しました。

4ページをご覧ください。調査票の回収状況は、送付票数3,000件、回収総数1,208件、回収率は40.3%でした。

さきほどの資料5では、取り組みの柱と行動目標ごとに、計画策定時と平成23年時点でのデータをまとめております。

今後、このアンケート調査結果を検証し、次期計画を策定するための検討材料にしたいと考えております。

次期計画の策定の際は、また皆様のご協力を賜りたいと思います。以上です。

## 事務局（大澤次長）

続きまして若干アンケートの内容について触れさせていただきたいと思います。アンケート調査報告書の8ページにあります「食育」の認知度ですが、学童期の小中学生は本人が答えているので、食育という言葉自体に馴染みがないので認知度は低いですが、学校としては食育について積極的に行っています。食育という言葉自体はあまり知らないということでご理解いただけたらと思います。

また、12ページの「5つの取り組みの柱」の重要度と13ページの「食育」に関して市に期待することについてですが、これらを見ていただくと、市民の関心は安全な食の提供と健康的な食習慣の推進、いくなればご自身の健康づくりについて市に期待されているというようなことがうかがえると思います。

それに対しまして、市が目指している食のネットワークづくりや食育に関するリーダーの養成については市に対してさほど期待されていないようなことがうかがえます。

22ページをご覧ください。それを反映してか、食育クラブやかまくら食育通信の認知度は低いようです。こういったことからみまして、今後の平成25年度以降の次期の鎌倉の食育推進計画についてはこのへんのことも一つの検討材料になってくるのかなと思っております。

また、先ほど青年層の欠食が多いということでしたが、10ページを見ていただきますとここの中の「食」について大切にしたいことでは青年層の約82%ほどの

方は、健康的な食生活を大切にしていきたいと思うと出ております。先ほどの欠食のとリンクしていないような状況なのかなと思いますので、そういったことの動機付けと申しますか、どうしたら若い方達に3食食べていただくことができるのかも今後の課題として出てくるのかなと思います。これから私共もアンケート結果から状況を読み取り、今後の課題を探っていくつつ、今後の推進会議の方でもご議論いただきたいと思っていますので、委員の皆様にもアンケート調査の結果に目を通して頂ければと思います。よろしくお願い申し上げます。以上でございます。

### 中村会長

ご質問ありますか。

### 高橋委員

回収率なんですけれど、このくらいにしかならないものでしょうか。

3,000件配って、1,280件、40.3%とあるのですが。

現状をもっと知るためには、回収率をあげて欲しいなと思うのですが。

### 事務局（大澤次長）

実際には、アトランダムに選んで郵送で基本的にはやっております。その回収で帰ってきたのが40.3%とご理解いただきたい。通常回収ですと高い回収率は望めないのが現状なので、回収率をあげるためにもアンケートをやるとすれば別の方法をもってやっていくしかないのかなと。通常行ったきりになってしまいますので、それに対して追跡調査はいたしませんので、一般的な調査の回収率をあげるというのは難しいのかなと思っていますのでございます。

また、内容的に設問が多かったというのものもあるかもしれませんし、そういったところは課題かなと思います。

### 高橋委員

よく、市から送られてくるアンケートなど、家はきたことがないので分からないですが、一番いいのは学校をチョイスして先生のほうにポンポンと渡してというのが学生なんかは確実なのかなと。回収率的には、この辺の学生や幼児さんや乳児さんは集まるのかなと。一般市民でいったら20代から70代は郵送でしかできないとは思いますが。その辺の学年がもう少し集まったらいいなと思うのですが。

### 中村会長

回収率をあげるのは難しいですね。40%は良いほうなのではないですか。普通は30%台とか。

ほかにありますか。

25ページのこの図はよく分からないが、これはどういうことでしょうか。

青年期、壮年期、高齢期というのは、1日2回は野菜を食べるということは、毎食野菜を食べているわけではないということですね。

### 落合委員

1回の食事の中にお野菜がないのはどういう食事なのか。こんなことしていいのかしら。すごく気になりますけれど。これからいろんな教室とか講演とかあると思いますけれど、そういう時かなりこれは意識していただきたいと思います。

### 中村会長

他にございますか。

### 中澤委員

独居の方が増えていて、1人で一回分の食事を作られるのがめんどくさい、例えば麺類だけとか買ってきたもので済ませているとか。やはり1人でお食事ということで楽しみも減ってしまったりということで、おなかが満たされればいいやと思われる方が多いのかなと。

### 富田委員

一緒に食べる人がいないと、簡単に済ませてしまいますね。

この高齢期の方のところは、たまたま多くアンケートに選ばれたのもあるのかなという気がします。

### 中村会長

そうですね。なんか思春期の28.9%が毎食野菜を食べていて、青年期、壮年期、高齢期とだんだん少なくなって。

### 高橋委員

青年期は、学生時代で一人暮らししたり、時間も変わってくるので朝食とお昼は外食だったり、時間ギリギリまで寝ていたり、何か食べたいからとコンビニに走ってパンだけ買うとかおにぎりだけとか。お野菜も一つといったところ片手で終わらないとか座ってどこかで食べないと食べれないからそういう意味で野菜を取るのちょっと。

### 中村会長

鎌倉やさいがこれだけ有名になっているというのに、鎌倉の人が野菜を食べないというのは問題ですね。

では、無いようでしたらいいですか。

次期計画策定の際には「食と健康に関するアンケート調査」の結果を検証し反映するということで、続きまして、議題の4の今後の予定等について、事務局、説明をお願いします。

### **事務局（持田補佐）**

それでは、資料4をご覧ください。

こちらは、今後の推進会議のスケジュールですが、平成23年度の欄をご覧ください。この審議会は年2回を予定しております。

今年度は、本日が第1回となります。先ほど説明いたしましたが、平成24年度までで鎌倉食育推進計画が改定の時期を迎えます。改定に向け、平成23年度は第2回目として、平成24年1月後半頃に現在の鎌倉食育推進会議の行動計画の進捗状況や次期計画についての検討を進めたいと考えています。

また、平成24年度は、年3回を予定し、平成25年3月には次期計画を策定していきたいと考えております。以上が今後の計画となります。

### **中村会長**

今後の計画に関していかがでしょうか。

### **牧田委員**

私の方が失念をしていたのかもしれないのですが、この会議を招集するにあたって、事前の資料配付があったのでしょうか、ありませんでしたよね。

これだけの資料をいきなり拝見させていただいても、皆様のご意見を伺っても、その場その場の場当たりの、本当に失礼な言い方で恐縮なんですけど、やはり事前の資料配付をしていただかないと全体を眺めていくことができないんですね。事務局の方が解説してそれにたいしてコメントすることはできますけれど、そういう事務局のご説明も概要ですし、これだけのものをいきなり拝見しても私などはちょっと意見も出ないというところが多くて。やはり第2回は次期の計画とかそういうお話になるんでしたら、やはり事前の意見聴取ですとか資料配付ですとかそのへんのところ、ただ会議をして集まってその場でこういうことをしても、もちろんそれはそれで非常に有用な効果もあるかもしれませんが、より深いものを出すためには、もう少し事前準備していただいて、委員にもその辺のところを公開していただくと私共も、もう少し建設的なもっと体系的なところを分かることができるかなというふうに感じるのですが。

### **事務局（大澤次長）**

大変申し訳ございません。今回、職員の移動もございまして、大変不手際があったかと思しますので、今、牧田さんがおっしゃったように資料配付等できるだけ事前させていただければと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

## 中村会長

ほかにございますか。

これだけ結構ありますからね。じっくり読むと、どれだけか見えるかもわからないですね。

特にございませんか。

では、その他事務局からは何かありますか。

## 事務局（持田補佐）

今回の会議録の確認についてですが、事務局の方でまとめたものをメールなどで送信させていただきまして、中身を確認していただきたいと思います。

訂正があった場合は、事務局の方で直させていただきたいと思います。

よろしく願いいたします。以上です。

## 中村会長

はい、ありがとうございました。

会議録は、事務局でまとめていただけるということで。

では、続きまして次回の開催予定ですが。

## 事務局（持田補佐）

はい、次回の推進会議の開催等について決めさせていただきたいと思います。

先ほどの推進会議のスケジュールでは、第2回目を平成24年1月後半に開催させていただく予定になっております。

現在、会場の確保ができているのが1月24日（火）、31日（火）、2月1日（水）となっております。委員の皆様のご都合をお聞かせ願えればと思っております。

## 中村会長

来年の話になってしまいますね。皆様、いかがでしょうか。

都合の悪い方いらっしゃいますか。

## 中澤委員

すみません、24日は。

## 中村会長

24日だめですね。他に。

## 安齋委員

できれば1日の水曜日を外していただけると。

## 中村会長

他にございますか。残ったのは31日だけですが、よろしいですか皆様。

では1月31日に。

次回の時には、次期計画についての検討とかが入ってまいりますので、できるだけ早く、事前の資料をお配りできるような形にさせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

## 事務局（持田補佐）

では、1月31日ということで決定させていただいて、事務の方を進めさせていただきます。

## 中村会長

よろしくお願ひします。

他に何かありますか。

食育クラブからは、何かありますか。

## 高橋委員

ほんとに名前がついてから今までいっばい市のほうからは養成講座で卒業生は出ているものの、活動となってくると現状参加ができませんという方が多数おられて、ごく数名でいろんな活動している状況なんですね。ただ、会員の中から縦横のつながりでいろんなところと協力して活動できる場を増やしていきたいというようなことがでていて、個人会員さんが中心となっているので、つてもそんなにないといったところで、いま活動しているので、市からの委託事業だけでなく、もう少し保育園や小学生や老人ホームなど市民と近い場所で少しずつ食の大事さを伝えていきたいということが心の中にみんなありながら、それをなかなか行動できずにというようなかたちでいるので、今年度から来年度にかけて、そういった事業を少しずつ数を増やして、いろいろな課の方とも協力して頂きたいと思っています。

## 牧田委員

今回、全く話題に出ませんでしたので、どういった形で反映していただけるか分からないのですか、食の安全と食育ということですと、お若い方達に関するということと、放射能の影響というのは、私どもでも飲食の事業をしていて、一般の方から放射能大丈夫なのかと、そういう問合せがずいぶん来ますし、今日の新聞ですが、鎌倉の土壌からセシウムが検出されたと。そういうことが今後に対してどの程度影響があるか一般の市民の皆さんにはわからないわけだと思ふのです。私たちも分かりませんし。ただ、ほんとに大丈夫という、その大丈夫がなんなのかという

もの分からないわけで、地場の鎌倉やさいも食べたいし、地場の魚も食べたいけれどそれが放射能という3月11日以降そういう状況になって本当に安心して食べられるものであるかということと、そうであったらば、そういうことを広く啓蒙する必要があると思うんですね。それが食育ではないかと思います。野菜を食べていらっしゃる方がずいぶん多かったなんていう話もありますが、それも結局、啓蒙、三食食べましょうという啓蒙が足りないということなんだと思うんですけど。

そういう放射能に関する私たち、今まではそんなこと要らなかった、今までの計画の中には放射能なんてスルーして良かったわけですけど、今後はそういう中で日本人は生きていかなければならないわけですから、その部分をどこかに組み込まなければいけないんじゃないかと。正しい知識を出せるというか。ここにいる私達はあと20年後は別に放射能じゃなくても死ぬかもしれないし、別にいいんですけど、こと食育ということでしたら、やっぱりお若い方が今後長い間影響が出てくるということを見ると、その部分を全く見ない、入っていないというのはちょっと。ここで少しそういったものを入れていただいたほうがいいんじゃないかなと感じました。

#### **中村会長**

他に何か。

#### **高木委員**

私も7ヶ月の子どもがいます、離乳食作りで、どういったものを選んで買ったら考えているんですが、鎌倉市のお野菜ですとかほんとに食べて大丈夫なのかって。大丈夫だから出していると思うのですが、ものすごくそういった悩みが尽きないので、是非よろしくお願いします。

#### **中村会長**

測定されているんですか。

#### **安齋委員**

実は、鎌倉の中で測定したという話しは聞いてません。鎌倉の中の野菜は。基本的に神奈川県内の方は、農業試験場の管内の野菜を測定しています。丁度出ているか分かりませんが、お茶で一部、神奈川県産のお茶は出てしまったと足柄、県西のほうは出荷停止とかなっていると思うんですけど。私もこの前農協のほうから資料頂いて、0ではないです。出てます。ただ、やっぱり牧田委員の言うとおりの、どの範囲が安全か私にも分かりませんし、一応基準値内ということにはなっています。

神奈川県産に関しては、鎌倉は、たぶん検査してないと思います。いずれ、たぶんどこかで検査すると思いますが、実際今度鎌倉の給食のほうで検査するんですよ。

## 事務局（大澤次長）

担当の課長おりますので、もしよろしければ。

## 学務課長

学務課長の山田と申します。学校給食のほうはですね、7月1日から1日ひとつの野菜を選びまして、検査を始めます。一応7月中ということで検査をします。

ただその野菜が鎌倉産とは限ってはおりませんので、鎌倉産のものに当たればといますか、八百屋さんで市場で仕入れてもらっています。その時のその食材が鎌倉産のもがあれば鎌倉産のものを入れていただけるようなかたちになると思います。そういったような状況です。

## 中村会長

その分析値というのは、どこに出るんでしょう、どこに発表されるのでしょうか。

## 学務課長

検査結果は、翌日10時くらいにホームページで発表しています。

## 中村会長

それは、見るができるわけですね。

## 学務課長

はい、学校給食の場合は、一番最初のところから教育というところがありますのでそこからはいついていただいて。

## 中村会長

はい、どうぞ。

## 高橋委員

小学校の数値の件ですが、私、何人かの親からご意見を頂いてまして、発表された内容が7月中のどこかの小学校1校の1品の中の1つの野菜とほんとに限定をされていて、ほかの小学校メニューが違うといったところで、一日一日変えてその一つといわれても、自分の小学校はその日に他のお野菜食べていてどうなんだとかいった心配されている方がいて、ご連絡を学務課の方にされた時に、市場に出ているから安心だというふうな感じのお返事しかなくて、その安心が分からない。基準はあっても安心が分からない。しかも調べるのは一つだけというような感じであれば、やることはいいんだけど、もう少し幅を広げてやって欲しい、一つの学校の一つの品物だけでなく、どの学校も同じようにやってほしいというようなご意見が出ていました。

また、保育園なんかは、ちょっと前からどこの品物を使っていますというのを全部お野菜の種類と産地というのをのっけてもらって頂いているんですね。そんな感じで給食便りだとかそういったところに、どこどこ産使っていますよとか、そういったところも細かくやっていってもらわないと、親としてはとても心配、先ほど牧田さんが言った、大丈夫というのがどこが大丈夫かというのがみんな分かっている人もいればあまり分からない人もいますのでそこらへんをもう少し詳しくやっていただけると助かるのですが。

### 中村会長

はい、ほかに。

### 落合委員

今の放射能の問題ですけれど、入ってくるのはつかみにくくて、ほんとに分からないので、だとしたら出す方、デトックスですね、こういうような食べ物がそういう悪いものを出してくれるんだよとか、やはりお通じが悪ければ、やっぱりたまってしまうし、食べ物で出してくれるものもあるし、そういうようなのを食育で少しみんなに知らせていけるようになればいいなと思うんです。長崎や広島の際の玄米や味噌汁、海草、あとロシアのチェルノブイリではスピルリナなどがいわれている。いろいろあっちこっちからそういう話を聞きますけど、そういう放射能をデトックスする方法も知らせていければいいなと思います。

### 中村会長

今、ようやく食べ方とか調理法の研究が始まっていますので、もう少ししたら科学的な情報が出てくるでしょう。チェルノブイリの時も、ロシアの論文は出ています。

今まで研究者がこの領域に入らなかったですね。放射線の研究している人は放射線のことばかり研究して、食品は食品の人がやって、一緒になって研究するというのは少なかった。

放射能汚染というのは、そんなに日常的に起こることではなかったもので、食品の汚染の中で放射能は外れてしまっていた。今からはかなり精度の高い情報が出るのではないのでしょうか。

無いようでしたら、これで推進会議を閉会にしたいと思います。